

【尾道市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

令和3年1月の中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」では、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現のため ICT は必要不可欠であり、これまでの実践と ICT を最適に組み合わせることで教育の質の向上につなげていくことが重要であるとしている。

本市でも「尾道教育総合推進計画」を策定し、ICT の活用により「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を目指す。

2. GIGA 第1期の総括

令和2年度に文部科学省の示す GIGA スクール構想の実現に向け、1人1台端末及びネットワーク環境の整備を行った。

令和3年度からの運用開始に合わせ、「ICT 活用指導力向上研修会」「尾道市 Chromebook つかってマスター研修会」等の研修会を開催し、ICT を効果的に活用するための演習や実践事例の交流を行うことで、どの教職員も端末を活用した授業や教育活動を展開し、深い学びの実現やカリキュラム・マネジメントに自律的、主体的に取り組めるよう支援した。

また、電子黒板等の周辺機器やドリル教材の整備、ICT 支援員の学校訪問による ICT 機器のトラブル対応や授業への活用支援を行い、ICT を活用した学習活動の充実を図った。

一方で、学校間や教員間で利活用に差が生じているため、今後も児童生徒の学びの場面に応じた活用方法についての研修の機会を充実させるとともに、好事例を共有していくことで、教職員の意識と指導力の向上を目指す。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA 第2期では、共同調達により端末の整備・更新を行い、1人1台端末環境を維持しながら、以下の取り組みを行う。

(1) 1人1台端末の積極的活用

教職員を対象とした研修会を継続的に開催し、ICT 活用指導力の向上を図る。また、好事例の共有により授業等で端末を利用することのハードルを下げ、積極的な利用を促す。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

ドリル教材等の学習記録の蓄積および可視化により、児童生徒が自身の理解度や進度に合わせて主体的に学びを進める「個別最適な学び」と、授業支援ツールや電子黒板を活用した発

表等を通じて、他の児童生徒と意見を交えながら考えを深める「協働的な学び」の充実を目指す。

(3) 学びの保障

様々な課題を抱える児童生徒が増加する中、誰一人取り残されない学びの保障のため、不登校児童生徒や別室登校児童生徒等に対して、1人1台端末を活用した支援により、「探究したい」「考えを表現したい」に答える教育活動を展開していく。